

平成16年3月23日

八代市長

中島隆利様

八代経済開発同友会

代表幹事 上村憲助

## 要 望 書

拝啓

春暖の候、貴市に於かれましては益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。日頃より弊会に賜っておりますご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、弊会では活動を通して、各種の事業に取り組んで参っておりますが、その一つに八代城跡の復元整備研究があげられます。弊会がこの問題に取り組み始めて早17年近くになります。その間、幾度かシンポジウム、陳情等行って参りましたが、なかなか弊会の思いを達するには至らず、未だに進展の兆しが見られない状況にあります。

しかし、弊会と致しましては、将来の八代を考えた場合、八代城跡の復元整備は避けては通れないものと認識致しております。城郭が威容を誇る都市は、「お城」が街づくりの原点として、そして観光の目玉として十分に活かされ、活力を保っている例が数多くあげられます。また城郭は、都市にとっても市民にとっても、正にシンボルであり、故郷そのものでもあります。

そのような事で、弊会と致しましては、今後も引続き八代城跡の復元整備については、重大な関心を持って取り組む所存でございます。但し、八代城跡の復元整備が、弊会のみでの努力で成し遂げられるものではない事は十分承知致しております。今後はこれまで以上に産学官一体となった活動が不可欠となってくるものと認識致します。

そこで、弊会と致しましては、今後の活動指針を定める上でも、是非とも貴市のお考えをお聞かせ頂きたく存ずる次第でございます。大変変則的なお願いであり、ぶしつけな事は重々承知致しておりますものの、以下の三項目につきご回答賜りますれば誠に幸甚に存じます。何卒宜しくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

## 質 問 事 項

- 1 . 行政は街づくりに八代城をどのように生かし役立てようと考えているのか。
- 2 . 八代城復元整備に関する総合的な管理運営組織として「八代城跡復元整備室」を設立し、関係各部署との調整を行う公的機関を作れないか。
- 3 . 先日、八代市は九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道の開業を迎え、市内は祝賀ムードで溢れている。更には、ここ1～2年以内に市制施行65周年や八代市郡の合併なども迎える事になり、市民上げての記念事業の実施が望まれる。その記念事業の一環として、八代市民が誇るに足りるシンボルとなる財産を造る為にも、現在最も可能性が高い県事務所跡地にあった北御門櫓、置櫓、水堀、石垣等の復元ができないか。

尚、別添資料として弊会が城跡委員会を発足させました以後の各種行事や資料を、熊本大学北野教授のご指導を受け、取り揃え添付致しました。更に「熊本城復元整備の概要」を熊本城総合事務所より入手致しましたので、合わせて添付致します。